

NEST ロボコン 2024 レスキュー（ワールドリーグチャレンジエキシビション） ルール Ver.1.0

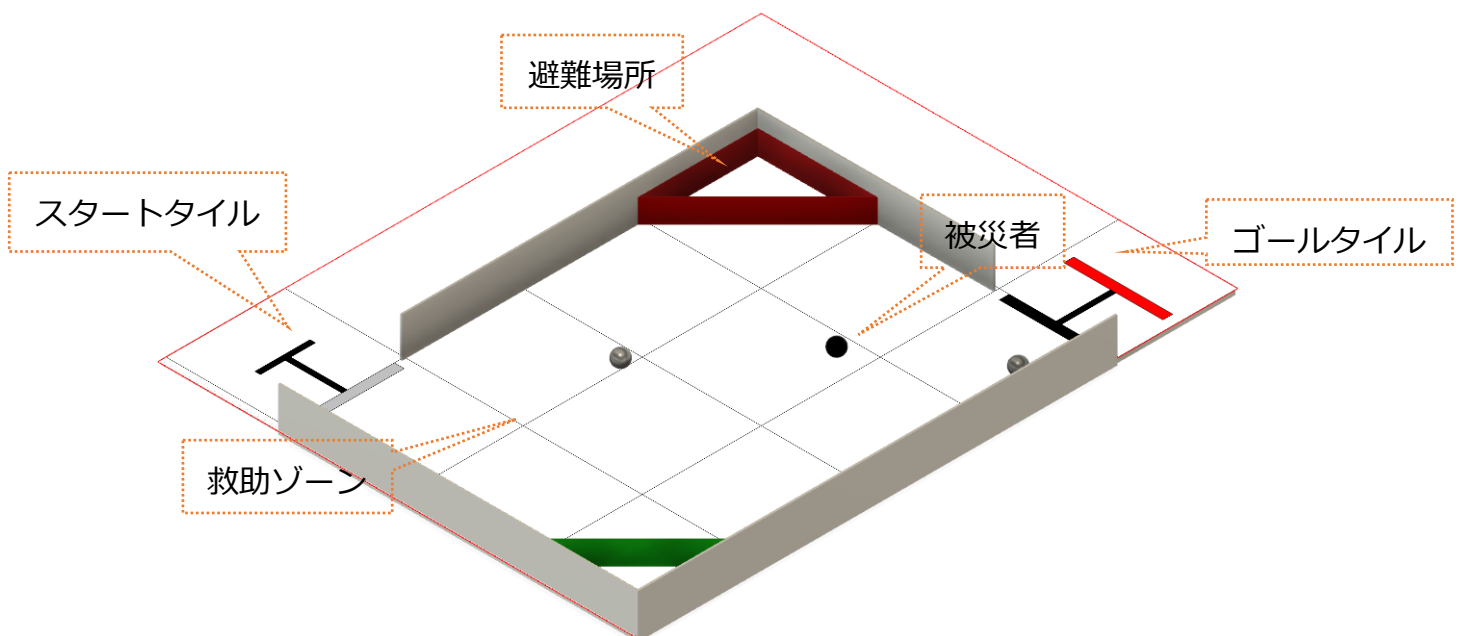
はじめに

ロボカップジュニア・レスキューライン2024年ルール国際版をベースに、避難ゾーンを中心にコンパクト化したオリジナル競技となっています。事前のエントリーや年齢制限を緩和して、自分で持参したロボットで参加できるエキシビション競技です。高難易度化しているレスキューラインの避難ゾーンを体験し、技術交流や技術発展を深める場になることを期待しています。

シナリオ

その場所は人が被災者に達するにはあまりにも危険である。あなたのチームは難しい課題を与えられた。人の補助無く完全な自律モードで被災者救出作戦を実行できなければならない。ロボットは被災者を見つけたら、人に引き継ぐ為、安全な避難場所へ穏やかかつ慎重に被災者を運ばなければならない。ロボットは被災者の救助が完了したら避難ゾーンを脱出しなければならない。

■フィールドイメージ図



A) 適用ルール（ベースルール）

1. 下記ルールを適用し、ベースルールとします。
 - レスキューライン 2024年 国際版ルール¹
2. ただし、いくつかのローカルルールを適用します。

B) ローカルルール（ベースルールとの変更点）

¹ <https://junior.robocon.org/rcj-rescue-line/>

※ 大会名等, 細かな違いについては省略します。

※ 括弧内の番号は関連するベースルールの章.節.項の番号です。

1. 行動規範

- ベースルールとの大きな変更はありません。
- ルールは更新されることがあります。最新のルール・大会情報は、NEST ロボコンの Web サイト²を確認してください。
- メンターは不要です。

2. フィールド

- (2.1.3) ラインの描かれたフィールドは救助ゾーンの入口と出口に 1 タイルずつ存在します。
- (2.4) チェックポイント, (2.5) 減速バンプ/瓦礫/障害物, (2.6) 交差点と行き止まり, (2.7) 坂, (2.8) シーソー,のルールは採用しません。

3. ロボット

- (3.2)の制約を満たしているチームを表彰対象とします。
- (3.3) チーム, (3.4) 検査, (3.5)違反, のルールは採用しません。
- 安全上の基準は上記の限りではありません。

4. 競技

- (4.1) 競技前の練習は、フィールドで競技が行われていない間いつでも行うことができます。
- (4.3) 参加者はフィールドで競技が行われていない間、集計スタッフに声かけを行うことで競技を開始することができます。
- (4.3.1) 競技時間は 8 分より短くなる可能性があります
- (4.6) の代わりに得点を下のように定めます。
 - I. 避難場所にいた被災者の数毎に 40 点を入れる（正しい色の避難場所かどうかは問わない）
 - II. 避難場所にいる被災者のうち正しい色の避難場所（銀色の被災者を緑の避難場所、黒色の被災者を赤の避難場所）に置かれた被災者の数毎に 40 点を与える。
 - III. 競技進行の停止毎に 5 点の減点を行う。この減点により 0 点を下回ることはない。
 - IV. ロボットが救助ゾーンからでて赤いテープで 5 秒間完全に停止すると 20 点を獲得する。（被災者を救出しなくてもこの得点は与えられる。）

² <http://www.npo-nest.org/workshop/robocon/index.html>

5. 技術評価（インタビュー）

- エンジニアリングジャーナル（作業記録）、ポスターの提出は必要ありません。
- 競技中に簡単なインタビューを行う予定です。

6. 問題が発生した場合の対処

- 大きな変更はありません。

C) その他

1. 競技参加資格

- NEST ロボコンの別競技に参加登録をしている選手
- NEST ロボコンの見学に来ており、ロボットを持参している方
- NEST ロボコンにスタッフ登録をしている方

2. 順位・表彰

- 得点が 60 点以上の競技参加者のうち、最高得点の競技参加者を表彰します。
- 得点と競技時間が同じ場合は、競技進行停止数が少ないチームが高い順位となります（競技進行の停止数も同じ場合は同順位とします）。